

日本初の世界自然遺産・白神山地
約8000年前から誕生したブナ林が生み出した
乳酸菌が「**白神ささら**」です。



白神ささらとは

白神山地（しらかみさんち）は、
青森県の南西部から秋田県北西部にかけて広がっている
標高1,000m級の広大な山地です。
白神山地は、屋久島とならんで1993年に、
日本で初めてのユネスコ世界自然遺産に登録されました。
人の影響をほとんど受けていない、
原生的なブナの天然林が世界最大級の規模で分布している
というのが世界遺産登録の理由です。



白神山地は寒冷な厳しい気候のせいもあって、
ほとんど人が入り込むことがなかった為、
世界でも突出した非常に長い期間、独自の生態系を保ってきました。
乳酸菌「**白神ささら**」は白神山地で発見された、
約8000年もの生存競争を勝ち抜いて生きていた**乳酸菌**です。
専門的にいうと、乳酸菌 *Lactococcus lactis* subsp. *lactis* KLC1527D 株。
乳酸球菌 *Lactococcus lactis* は、チーズやヨーグルトから発見された、
生食用発酵乳製品の安全な製造に貢献する乳酸菌として知られています。
血圧低下作用、精神安定作用、学習能力向上効果があるといわれている
アミノ酸の仲間、GABA (γ-アミノ酪酸)を生産します。

